

# 患者の皆様へ

令和4年1月25日  
脳神経内科

現在、脳神経内科では、「慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）、抗 myelin-associated glycoprotein（MAG）抗体関連ニューロパチー、多巣性運動ニューロパチー（MMN）を対象とした全国疫学調査」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では令和2年4月1日から令和3年3月31日の1年間に全国の医療機関を受診した慢性炎症性脱髄性多発神経炎患者、抗MAG抗体関連ニューロパチー患者と多巣性運動ニューロパチー患者の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 「慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）、抗 myelin-associated glycoprotein（MAG）抗体関連ニューロパチー、多巣性運動ニューロパチー（MMN）を対象とした全国疫学調査」

**2. 研究の意義・目的** 「患者さんにより良い診療を提供することを目標に、正確な患者数を把握し、診断・治療に関わる情報を集めることを目的とします。」

## 3. 研究の方法

全国の脳神経内科、小児科を標榜する医療機関に調査票を発送し、通常の診療の一環で得られる臨床情報・検査結果を収集します。診療情報は生年月と性別以外の個人情報を含まない形式で、千葉大学医学部附属病院脳神経内科に集められます。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院筋電図室の鍵のかかかかる部屋の鍵のかかかる棚で保管します。

## 5. 研究資金および利益相反

本研究にかかる費用は、厚生労働省科学研究費（難治性疾患克服研究事業）により賄わ

れます。

## 6. 外部への試料・情報の提供

本研究で収集されたデータは匿名化された形式で集計され、共同研究機関である慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学へ暗号化した上で電子的配信し統計解析処理を行います。

## 7. 研究組織

研究組織と役割分担

千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学

教授	○桑原 聡	本研究の管理と遂行の総責任
准教授	三澤 園子	全国調査実施・データ収集
特任助教	水地 智基	同 上
医員	青墳 佑弥	同 上

慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学

准教授	佐藤 泰憲	統計解析
-----	-------	------

静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科

教授	栗山 長門	調査手法の指導
----	-------	---------

## 8. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院脳神経内科

本件のお問合せ先：医学部附属病院脳神経内科  
医師 青墳 佑弥  
043（222）7171 内線5414

国立精神・神経医療研究センター病院からの試料・情報の届け出に関するお問合せ先  
：国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科  
医師 岡本 智子

研究代表機関：千葉大学医学部附属病院脳神経内科  
研究代表者：桑原 聡